

佐賀県らしい地域共生社会とは

佐賀県健康福祉部社会福祉課

日時：令和5年3月16日（木）

場所：大会議室

データからみる佐賀県の強み（2022年版）

※保健福祉関連分野抜粋

●人口・世帯

項目	全国	九州
出生児中の第3子以降の割合	5	5
一般世帯の平均人員	3	1
年少人口（0～15歳未満）の割合	3	2

●労働

項目	全国	九州
障害者実雇用率（民間企業）	3	2
障害者法定雇用率達成企業の割合（民間企業）	2	1

●福祉

項目	全国	九州
老人ホーム数（65歳以上人口10万人当たり）	4	3

●地域のつながり関連

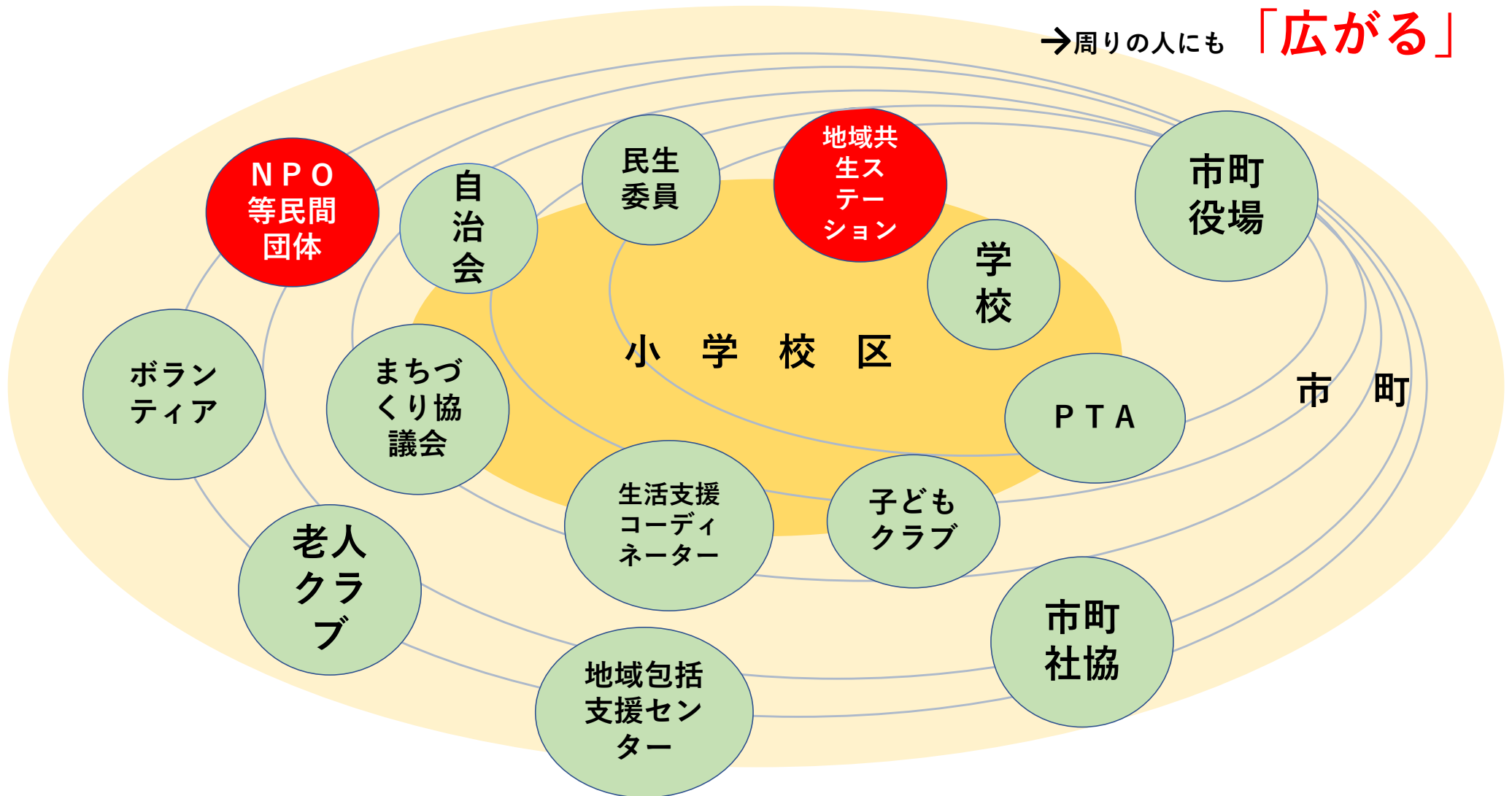
項目	全国	九州
民生委員充足率	13	1
消防団員組織率 （人口千人当たり）	1	1
女性消防団員の組織率	2	1
ボランティア活動の 年間行動者率 （10歳以上）	5	2

佐賀県のすがた（イメージ図）

まずは多様な活動主体を「つなぐ」

→互いが「つながる」

→周りの人にも「広がる」



佐賀県の強みとは

- ・CSO活動が活発
- ・地域共生ステーション
(161小学校区のうち103校区に設置)
- ・地縁関係が根強く残っている。
 - 民生委員の充足率九州一位
 - 三夜待ち、六夜待ち・
 - 「おもやい」の心
- ・小規模自治体が多い。
 - 地域の課題を把握しやすい。
 - まとまりやすい。 **•etc•••**



◆CSO

Civil Society Organizations (市民社会組織)

NPO法人、市民活動、ボランティア団体に限らず、自治会、婦人会、老人会、PTAといった地域の課題に取り組む市民活動をすすめる人が集まった組織・団体。

◆地域共生ステーション

民家を活用するなど家庭的な雰囲気の中で、高齢者、障害者又は子どもを預かるなど、地域のニーズに応じた法令に基づかない福祉サービスを提供する施設。

※設置主体：NPO法人、社会福祉法人、株式会社等